

令和4年度 福井県肝炎医療コーディネーター 認定試験 解答

	問題(1～15は「○」か「×」で答え、記述問題は自由記載)	答
1	肝臓は、代謝、解毒、免疫などにかかわる人体にとって重要な臓器であるが、肝炎ウイルスやその他多くの原因で障害を受けるため注意が必要である。	○
2	肝炎ウイルスの中で、血液持続感染し、肝硬変、肝癌の原因となるのはB型、C型のみである。	○
3	肝硬変患者の栄養療法はタンパク質栄養障害とエネルギー不足があるかを評価する必要がある。	○
4	進行肝癌に対するテセントリク+アバスチン療法は治療成績がよく、副作用も軽いため、すべての症例に積極的に使用すべきである。 →ガイドライン上、肝予備能・全身状態がよい患者さんに限られていることに注意が必要	×
5	NAFLDでは心血管イベントや悪性腫瘍の合併が多い。	○
6	慢性肝疾患の患者には線維化の評価が必要である。	○
7	HBs抗体陽性者は、原則としてHBVに対して免疫がある。	○
8	肝硬変がかなり進行している時は、AST、ALTともに高値を示さないことがある。	○
9	C型肝炎DAA治療は、副作用の少ない安全な治療法である。	○
10	B型肝炎核酸アナログ製剤は、中止が困難で長期にわたって服用する必要がある。	○
11	肥満があっても、お酒を飲まない人は脂肪肝にならない。→お酒を飲まなくても食生活や運動などの生活習慣の乱れや肥満などが原因で非アルコール性脂肪肝になる	×
12	肝硬変で肝機能が低下した場合は、就寝前に補食をとることが有用である。	○
13	福井県に住民票のない方は福井県に肝炎医療費助成の申請ができない。	○
14	福井県肝炎医療コーディネーターは養成研修またはフォローアップ研修を5年に一回受講しなければ認定が取り消される。→3年に一回	×
15	肝炎医療コーディネーターは、肝炎ウイルス感染者に対し、受検、受診、受療に至るまで、ひとりのコーディネーターがすべて担うべきである。 →自分の強みを活かし、次のステップにつなげる（橋渡しをする）ことが重要です	×